

ミライの農業をつくるオンライン講座 授業活用プラン 「有機農業」編 90分ver



■準備資料一覧 【教員】



授業活用プラン
(本紙)



先生向け
手引き

【学生/生徒】



ワークシート (A3片面印刷推奨)

【授業の目的】

- 有機農業の有意性や、環境保全につながる有機農業の手法、取り組みを理解する。
- 持続可能な農業経営に役立つ工夫や取り組みを理解する。

【授業のゴール】

- 化学農薬や化学肥料を使用しない代わりにどのような工程が必要になるのかを理解している状態。
- 有機農業がどのように環境保全に良い影響を与えるのかを説明できる状態。

【授業前に準備しておくこと】

- 動画視聴の確認 (先生向け手引きを参照)

活動 (時間)	教員の指導	学生/生徒の活動	使用するもの
【はじめに】 3分	学生/生徒の授業準備ができているかを確認する。 今日の授業の目的とゴール、これまでの授業との関連を簡単に説明する。	ワークシート・アンケートが手元にあることを確認する。	
【講座視聴】 3分	プロローグ：環境調和と経営の両立を実現！ ミライの農業を学ぶオンライン講座 (動画視聴：0:00～2:40)	講座を視聴する。	YouTube動画
【講座視聴】 11分	有機農業① 有機農業で千年産業を目指す金沢大地 (動画視聴：0:00～11:05)	講座を視聴する。	YouTube動画
【おさらい】 3分	動画のポイントを簡単に振り返る。 ・これから求められる農業とは 生産性の高い農業、環境に配慮された農業。 また、食料の安定共有をするために、農家そのものが持続可能な経営を行う必要がある。 ・有機農業とは 化学肥料や化学農薬を使用しない農業。 有機肥料や堆肥を使用したり、自然の原理を活かした農業。		
【講座視聴】 11分	有機農業② 環境と調和する有機農業 化学肥料や農薬を使わずに農業を実践するために取り入れている取り組みや工夫を学びます。 (動画視聴：0:00～10:23)	講座を視聴する。	YouTube動画

ミライの農業をつくるオンライン講座 授業活用プラン

「有機農業」編 90分ver



活動 (時間)	教員の指導	学生/生徒の活動	使用するもの
【おさらい】 5分	動画のポイントを簡単に振り返る。 ・ 除草対策 農薬を使わずに雑草対策をする方法として、除草ロボットや合鴨・合鴨ロボット、ブロックローテーションが挙げられる。ブロックローテーションは一定期間で畑と田んぼを入れ替える手法。環境の変化によって雑草が減るメリットがある。 ・ 害虫対策 畑には益虫と害虫が両方いるため、益虫が生きられる環境を整えたり、自然の摂理を利用することもある。		
【講座視聴】 12分	有機農業③ 環境との調和を実現する土壌 (動画視聴：0:00～11:30) なぜ環境との調和が大事なのか？地域資源が農業にどう役立つのかという点に意識して視聴するよう伝える。	講座を視聴する。	YouTube動画
【グループワーク】 5分	ワークシート右ページのQ 2 「自分の住んでいる地域で有機肥料として活用できそうな資源を、植物性と動物性のものそれぞれ挙げてみましょう。」に取り組むよう伝える。	ワークシートに取り組む。	ワークシート
【発表】 3分	グループから、グループで出たトピックを発表してもらうよう指名する。		
【ディスカッション】 8分	有機農業に取り組むことによって、 ・ どんなメリットがあるのか ・ 自ら取り組みそうなことは何か 上記の2点について、グループ内での意見交換を促す。	4人程度のグループで有機農業に関する意見交換をする。	
【ディスカッション】 8分	動画を観た前後で、有機農業についてのイメージがどう変わったかをグループ内でシェアするよう促す。	4人程度のグループで有機農業に対するイメージをシェアする。	
【発表】 10分	各グループ内で出たトピックをリーダーから発表してもらう。		
【まとめ】 5分	本日のまとめを伝える。 ・ 有機農業は、化学農薬・化学肥料を使わない農業 ・ 地域の資源や自然の摂理を活かして、環境的・経済的に持続性のある農業を実践できる ・ 作物に合わせて、土壌機能を意識した土づくりが必要		
【アンケート】 2分	アンケートを記入するよう伝える。	アンケートを記入する。	アンケート